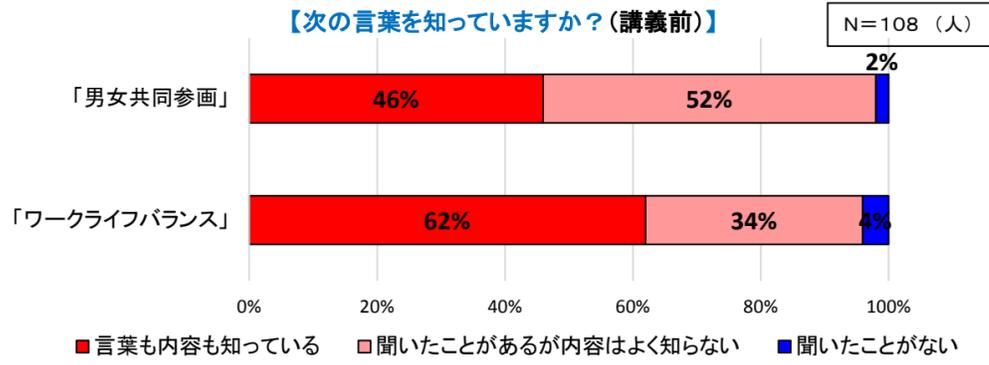
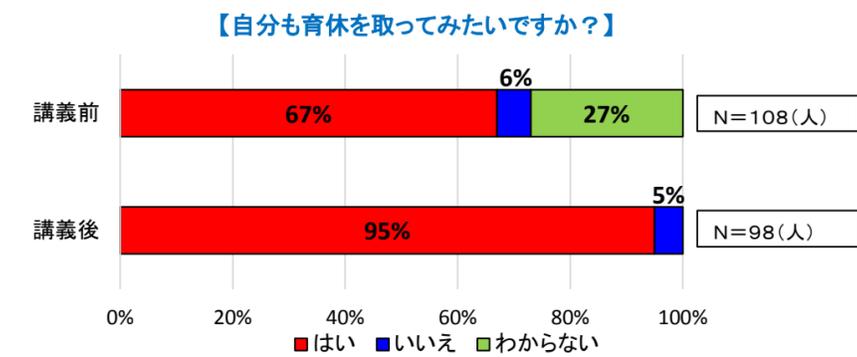


<2021年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>



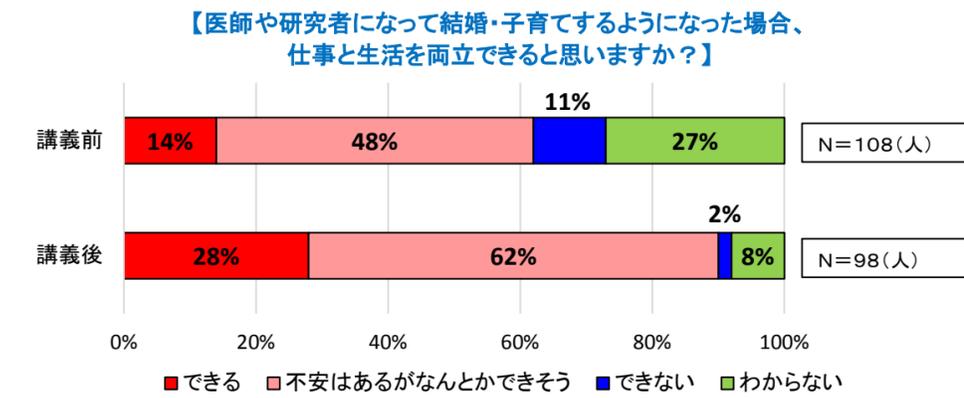
●2021年度の受講予定者124名(男性83名、女性41名(女性の割合33%))のうち、アンケート回答者は、講義前108名、講義後98名でした。  
**「ワークライフバランス」の言葉も内容も知っている割合は過去最多の62%**で、小・中・高校の授業で学んだり、様々なメディアで取り上げられ、浸透しています。

●現時点での将来の不安については、講義の前後で、不安がある割合は共に50%以上(前60%→後50%)であったものの、不安がない割合は少し増加(前24%→後27%)しました。講義後に、講義前と比べて不安が減った・なくなったと答えた割合は57%で、**学生の半分以上は、不安を抱えながらも、本講義で不安を軽減できた**ようです。将来に対する不安の内容(複数選択)で一番多いのは、「仕事と生活の両立」と「キャリア形成」が共に16%でした。次は「勤務地」と「診療科の選択」が共に15%で続きました。

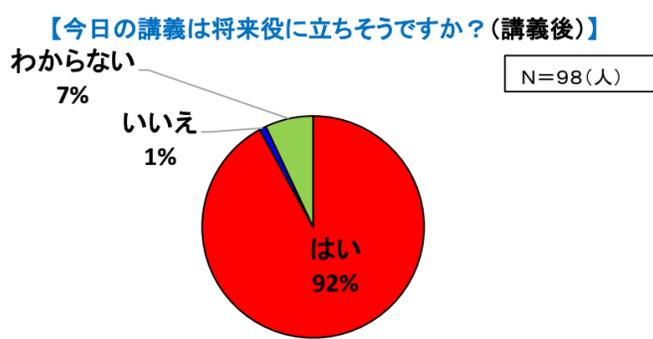
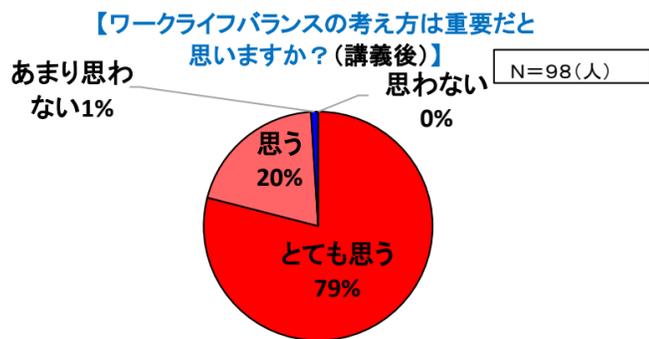


●「産休」「育休」の言葉はそれぞれほぼ100%の割合で認知され、**男性も育休を取ることができる**と知っている学生も98%と高い割合でした。講義後の「自分も育休を取ってみたい」学生の割合は**95%**(男性95%、女性94%)でした。講義を受ける前から、育休取得を考える学生が性別を問わず年々増えています。

●将来の進路を決定する時に重視するもの(3つまで選択)のランキングは、講義前:1位「仕事の内容」2位「やりがい」3位「雰囲気の良い科」、講義後:1位「仕事の内容」2位「やりがい」3位「希望するライフスタイルが得られる」でした。講義後は、仕事と生活の両立を重視する学生が増えました。



●仕事と生活の両立については、講義の前後で「できる」前14%→後28%、「なんとかできそう」前48%→後62%へと増加して、**講義後の両立への自信は90%と過去最多**になりました。「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少し、また、「**今回の講義が将来役に立ちそう**だ」と答えた学生は**92%**となり、講義の意義があったと感じました。



●学生からは以下のような感想がありました。

- ・将来のプランは一通りではなく、様々な選択肢があることが分かりました。
- ・とても有意義な授業だった。昼休みに友達と将来について話したが、色々な選択肢があっていいと思う。
- ・ワークライフバランスについては、常々自分で考えていたので、自分としてはとてもありがたい話題でした。今日の色々な話を聞いて、自分は、悪い方にばかり考えてしまったり、細かいところまで気にしすぎたりしていると気付きました。もっと楽しく将来を見ていきたいと思います。
- ・家族との時間と、仕事の両立について不安がありましたが、今回の授業を聞いて、男性の育休について学ぶことができ、また、子供を産み育てることが仕事に関してマイナスにはあまりならないのだと思えるようになりました。
- ・女性として今後経験する結婚、出産に対する不安が軽くなりました。
- ・グループワークでリアルな症例にふれて、みんなと意見を交流することでイメージが膨らんだ。
- ・自分のしたいこと、希望を前提にしながら結婚等する際はパートナーと話し合ったりしてしっかりとライフプランをしていきたいと思います。
- ・男性育休の制度が徐々に整っていて、自分が医師になれる頃にはもっと理解のある職場になっているのだろうと、安心しました。
- ・普段気になっていたけど知ることができなかったことばかりで面白かったです。
- ・自分の将来を今までで一番考える時間になりました。